

# 瑞

# 雲

明日を拓く  
直方鉄工青年会

第 59 号  
平成 5 年 4 月 17 日

## 会長就任にあたって

第29代会長 得居 慎一



力をお願い申し上げます。

私が青年会に入会したのは、創立15周年、現鉄工協同組合理事長内藤博俊氏が会長の時でした。入会以来、歴代会長の強いリーダーシップのもとに青年会活動が展開され、私も会員の一人としてそれなりの活動貢献はしてきたつもりでしたが、いざ、会長となりますとその責任の重さをひしひしと感じております。非力な私ではありますが歴代会長を目標に全力で務めて行きたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

バブルの崩壊後、経済は低迷し又、政界はスキャンダルで国民の政治不信をかうばかりと社会は混乱しておりますがこのような時でも我々、経営者は会社を維持繁栄させ又、何らかの形で社会に貢献して行かなければなりません。その経営者として自分自身の修練の場として青年会活動を活用していただきたいと考えております。

来年度は鉄工青年会の創立30周年という年になります。その節目を前にして、ここで原

点に立って青年会を見つめ直し、会の活性化を図ろうと考えております。

そこで運営方針の柱として、次の二点を考えております。

まず第一に『会員の拡大と育成』です。

数多くの人が共通の目的を持って集まるといのはそれだけで一つのパワーです。そしてその多くの仲間と色々な事を話し合い又、行動するという事は素晴らしい事です。

今年度は50名の会員でスタートしますが次年度もそれ以上の会員でスタート出来る様、勧誘し、又入会していただいた方には青年会の良さを知っていただける様努力したいと考えております。

第二は、『魅力ある例会活動』です。

会員の誰もが一度、例会に参加したら次も又、出席しようと思うような面白く、為になるような楽しい例会活動を開催したいと考えております。その為に、役員会では厳しく、真剣な討論、審議を行うつもりです。委員会での各委員のアイデアをどしどし役員会へ提出していただけるよう御願いたします。

今年度の会長スローガンは『会員全員で青年会を活性化しよう』です。活性化というのは会長一人が又、役員の一部が声を大にして呼び掛けるだけではだめです。全員の理解と協力がないと、真に会が活性化する事は有り得ません。今年一年間、皆様方の協力をお願いいたします。

スローガン

「会員全員で青年会を活性化しよう!!」

## 新事務局長に聞く

事務局長 飯野 泰造



私が青年会に入会して僅か3年数カ月しか過ぎてないのですが青年会の雰囲気は、ずいぶん、変わったような気がします。当時は、おっかない先輩方が多数在籍され気軽に話もできず、会議等で意見を言うにはすこし勇気がいったような気がします。それでも善し悪しはともかく、率直な意見を言い、多少なりとも意思表示をすることを私は心がけていました。

しかし、最近は広く会員の意見に耳を傾け活動に反映しようという姿勢が強く感じられるようになりました。これは、私を取り巻く状況が変わっただけでなく、青年会自体が変わりつつあるのだらうと思います。

青年会は、各々の会社の責任ある地位で活躍されている方の集まりですから、年齢、経歴等に捉われることなく率直な意見を交換できる場であることが望ましい姿ではないでしょうか。それをうまく執行部が方向付けをすることで一層活力ある会が生まれるのだらうと思います。私も微力ながら、今年度は事務局として円滑な会の運営にお役にたてればと思いますので皆様、ご指導の程、宜しくお願い致します。

## 新委員長、副委員長の挨拶

総務委員長 西田 義治



今年度、得意会長より総務委員長に指名されまして、大変光栄に思っております。総務とは、読んで字の如く総てに務めという事、これは大役でありますし果して、未熟者の私に務まるのかと不安もありましたが、しかし引き受けたからには、会長並びに会員皆様方の少しでもお役に立つ様努力したいと思います。さて私も青年会に入会しまして、8年目になる訳ですが、入会当時はまだ鉄工業界に身を投じて間もない頃でもあり不安も多少あったのですが、例会に出席し、色々な先輩との出会い語らいの中で、勉強させて頂いた事、勇気づけられた事を思い出します。やはり例会に出席し「あー青年会に入って良かったな」と一人でも

多くの会員が思える様な、内容作り、雰囲気作りこそ会の活性化だと思います。私自身も本年度は初心に戻り青年会活動の中で、会員相互の親睦が、更に深まる様な例会作りに頑張りたいと思います。何卒皆様の御協力の程を御願い申し上げます。

副委員長 渋谷 昌樹



このたび、副委員長として、一年間努めさせていただきます。入会3年目ですが、私は中途入会でしたので、実際のところ、青年会事業を1年間とおしたのは、1回なので、まだまだ青年会の事を理解していないのでしよう。いままでは、先輩方の計画された事業にただ参加という形でした。どのように事業計画が検討され決定されていく過程を知りませんでした。私が初めて役員会に参加させてもらった時は、役員の方が大変努力されているのが、わかりました。私がいままで参加してきた事業、いろんな思い出があります。楽しかった事業や経営セミナーで勉強した事や、緊張して総会の司会をやった事など、一つ一つとって、会員皆様の努力によって、進められ、また、回りの皆様方の理解と協力によって、成り立っていくのを、私は理解しました。とにかく、1年間、総務副委員長を引き受けていきますので、委員長の手助けをして、また、総務員の皆様の協力をお願いし、今年の総務委員会を盛り上げていきますので、これからよろしくお願ひします。

経営委員長 荻野 毅



経営委員会の委員長就任にあたり、昨年度、副委員長を飯野君のもとでやってみようと思って参加したとは言えやはりサブとしての仕事でしたので、今年度の責任の重さを感じております。今年から来年にかけて、まだまだこの不景気は続きそうですがその不況を乗り切り数年先の好況時にお役に立つような多方面からの講師をお招きしての経営セミナーができればと考えております。委員長職は、なにせ初めてでございますので何かと皆様にお世話になることと思っております。皆様から御指導、御協力をお願い申し上げます。

## 副委員長 沢本 哲二



まだまだきびしい業界の昨今ではありますが、春の明るさを思いうかべて、きびしい中少しでもゆとりある時を持ちたいと思う今日この頃です。

さてこのたび経営委員会の副委員長役をご指名され、お受けした以上精一ぱい努めようと思っております。

今迄は例会のみの参加でしたが、この1年は役員会との参加ということで、いかに時間を作るか、また会長の方針でもあります「会の活性化を図ろう」というスローガンに対し前向きな意見を求められることと思います。まずは経営委員長のご指導と協調のもと、1年をふりかえた時、少しでも活性化に役立てたかなと思えるような委員会事業をすすめていければと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 厚生委員長 田島 康宏



この度、得居新会長のもとで厚生委員長の命にあずかり光栄に思っております。

「会の活性化」これは言うのはカンタンですが実現させるのは非常にむずかしい問題だと思えます。今までの良い伝統はそのままに、悪い習慣にはメスを入れ眠った会員を目ざめさせないと真の活性化はできないと思えます。

厚生委員会としてやらなければいけないことは、レクリエーション旅行等を通して会員相互の親睦をはかり、一部の人同士ではなく、みんなが遠慮せず話ができるムードをつくる事だと思えます。

我が厚生委員会のメンバーは、個性的な人ばかりです。この個性的なメンバーで、個性的な事業の展開をはかっていきたいと思えます。最後に今年度の事業の中でのレクリエーション及、旅行等に多数の出席と御協力をお願いいたします。

どうぞ宜しくお願いします。

## 副委員長 船津 和行



平成5年は、私にとっても年齢的にも、今までの経験や知識を基に一步違った面を見出したいと考えていました。その為に大学の公開講座や遊びなど充実させたいと思っていました。そのような時

に厚生副委員長のお話しがありました。正直な所、青年会に入会して日が浅く、青年会の活動に付きましてもわからない点も多く迷いました。

しかし会の運営に付いては、厚生委員長や担当副会長など、経験豊富な方々や、厚生委員会の委員の皆様と協力すれば、目標は達成できると思えました。1人だけでは、出来る事は限られますが全員が協力すればすばらしい成果が得られます。

微力ながら私の考えや経験を厚生委員会や青年会の運営や活性化に役立てればと思っております。1年間頑張ってもらいますので、よろしく御願い申し上げます。

## 広報委員長 細田 宏



私が本会に入会させて頂き8年目の春を迎えようとしています。今までは名ばかりの会員でありましたが、昨年、前会長の坂田氏より広報副委員長のお役を頂きましてから、本会のすばらしさや皆様の御苦勞を身を持って感じました。本年度は会の活性化を目指す得居会長より、広報委員長を仰せつかりました。何かと未熟な私ですが、昨年度の経験を生かし、新規事業も積極的に取り組む所存です。それには、会長、担当副会長、並びに委員会の皆様の御協力を得て努力していきますので何卒、御指導の程、よろしく御願い致します。

又、会の発展と活性化につきましても、私でお役に立つことがあれば精一杯頑張りたいと思えます。1年間、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 副委員長 白土慎一郎



平成5年度の広報委員会で、初の副委員長に就任され、自分では事実何から手を付けていいのか何もわかりません。

ですが広報と一言で片付けると本当に簡単なんです、実際に広報委員会の仕事をしてみると、色々と大変と言うよりも、本当忙しい委員会だとなっとつくづく思いました。

でも、その忙がしい委員会の中で、どの様な副委員長であればいいのか、又、どの様に委員会を活発にすればいいのかを、この1年間いろいろと体験し、委員長と、委員のみなさんとともに全力を尽しがんばっていききたいと思えます。

# 新入会員の紹介

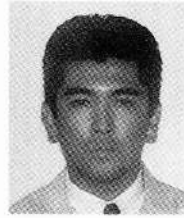
南牛島工業所 牛島 弘樹



この度、与古光英明様のご紹介により、直方鉄工青年会に入会させていただく事になりました。私は、高校卒業後、㈱上田鍍金工業所に入社させていただきました。仕事内容は、現在働いている会社とはかなり違いますが、人の下で働く事の難しさや、人と人とのつきあい方等、色々と学ぶ事が多く自分自身のためになったと思います。そして退社後、父の経営する会社に入社して2年が経過しました。現在の会社は身内が多数をしめるため、どうしてもあまえがちになります。そして、知識もとぼしく精神面での弱さもあり、今のままではいけないと思い直

方鉄工青年会に入会させて頂き、知識、精神面等のレベルアップを計りたいと思いますので、諸先輩方に御指導を賜ります様よろしくお願い致します。

福山鉄工㈱ 福山 貴信



はじめまして、この度、直方工業の社長様に紹介して頂き鉄工青年会に入会させて頂く事に成りました福山貴信です、まだまだ社会経験の浅い、未熟物ではございますが、先輩会員の皆様をお手本として自分自身を向上させ、一日も早く直方の鉄工業界繁栄の為尽力して行きたいと思しますので、よろしく御指導お願い致します。

## 「息子の入会に一言」

南牛島工業所社長 牛島 和弘

来年で30周年を迎える伝統ある直方鉄工青年会に今回親子二代で入会させて頂いた事深く感謝させて頂く次第です。

息子は鉄工青年会に入会し、いろんな事を学んで行く事と思います。

私はただ親として、道先案内をしたと思っております。これからは、息子自身が壁にあたれば考え前進して行くと期待しております。青年会の皆さんどうか宜しくお願い致します。

福山鉄工㈱社長 福山 盛樹

月日の経つのは早いもので、私が卒業して7年に成り、このたび息子貴信が、伝統ある鉄工青年会に入会させて頂く事に成りました。又、事業を大きく拡大し経営の実力者の篠崎君に紹介会員に成って頂いた事を光栄に思い全会員の皆様に可愛がってもらえる様に頑張る事と思しますので、よろしく御願い致します。



松尾 泰江  
H4.1.27.



伊藤 友弥  
H4.7.7.



窪田 有里子  
H5.2.7.



矢山 真菜  
H5.3.17.



渋谷 佳奈子  
H5.3.23.

## 平成5年度 事業計画案

	総務	厚生	経営	広報	特別
4月	通常総会				
5月	例会	ボーリング大会 (例会)			
6月	例会		経営セミナー (例会)		
7月	例会				まつりくらじ (例会)
8月	例会	家族 レクリエーション (例会)			
9月	例会			瑞雲 60号	特別研修会 (例会)
10月	例会	研修旅行 (例会)			
11月	例会		経営セミナー (例会)		
12月	例会	忘年会 (例会)			
1月	新年例会			瑞雲 61号	
2月	通常総会				
3月	例会			夫婦同伴 (例会)	
その他	手帳名簿			かわら版 (年3回発行)	

※ ご冥福をお祈り申し上げます。

特別会員山口賢次郎様の御尊父 山口平四郎様が平成4年11月4日永眠されました。  
 特別会員西尾英治様の御尊父 西尾善恵様が平成5年1月22日永眠されました。  
 心よりおくやみ申し上げます。

# 平成5年度

## 直方鉄工青年会組織表

会長	岡得高商店 得高 慎一
----	-------------

監事	岡坂田機械製作所 坂田 幸一
	高倉鉄工 高倉 倉
	直方ハッパネ商會 友原 清年

会長	岡吉田鉄工所 吉田 祐司
副会長	岡吉田鉄工所 吉田 祐司

会長	岡小野原鉄工所 安永 充孝
副会長	岡小野原鉄工所 安永 充孝

会長	協和鉄工所 村井 昇
副会長	協和鉄工所 村井 昇

### 事務局

正	飯野鉄工所 飯野 泰造
副	名島鉄工所 名島 憲次
會計	高瀬鉄工 高瀬 武俊

### 活性化特別委員長

栗原 敬一郎
対外団体特別委員長
与古光 英明
新入会員特別委員長
篠崎 光繁
地域交流特別委員長
大島 九州男

### ※ 特別委員長

### 厚生委員会

正	岡田島金型製作所 田島 康宏
副	直方精機 船津 和行
	吉田鉄工所 吉田 一
	大塚機工 大塚 秀幸
	岡得居商店 得居 悦二
	南アールコン 村上 勇
	岡上田鍍金工業所 加藤 勝也
	大島鉄工 大島 九州男
	クボタ鉄工 窪田 輝久
	南ニキテロンズ 安永 公朗

### 広報委員会

正	細田金属工業 細田 宏
副	白土製作所 白土 慎一郎
	南竹内製作所 竹内 満
	福智産業 栗原 敬一郎
	岡田島金型製作所 田島 悦朗
	大谷鉄工 大谷 保
	南安部田機械製作所 南安部田 雄二
	貝原鉄工所 貝原 正行
	南アールヤ産業 矢山 真人

### 経営委員会

正	岡荊野 荊野 毅
副	岡紀之國屋 沢本 哲二
	東亜工業 大田 譲治
	南アールヤ石橋製作所 幸田 良一
	村井工業 村井 知博
	岡大森鉄工所 大森 孝人
	南香月鉄工所 南香月 英明
	南アールコン 柳田 邦好
	曉鉄工 矢野 清一郎
	南牛島工業所 南牛島 弘樹

### 総務委員会

正	岡田中言鉄工所 西田 義治
副	渋谷機工商事 渋谷 昌樹
	南松井鉄工所 松井 明
	根葉工業 根葉 厚志
	直方工業 篠崎 光繁
	岡篠塚鉄工所 篠塚 塚司
	岡ヨシカワ 吉川 祐二
	岡伊藤工業 伊藤 龍一
	福山鉄工 福山 貴信
	岡サンエム精工 桑原 英年
	南小林減塵合金 小林 哲哉

発行所 直方市殿町直方鉄工協同組合内

発行日 直方鉄工青年会 TEL ② 3 2 4 1

号数 平成5年4月17日

編集者 第59号

印刷 平成4年度広報委員長 栗原敬一郎

TEL ③ 2873・1115